競技の進め方とルール【啄木かるた百首】

組合せと対戦場所

1. 対戦場所・試合時間・ホールの座席位置は決められています。プログラムで確認してください。

ルール

1. 1試合の時間は、5分間です。
2. 競技者は向い合せに、横に並んで座ります。100枚のかるた札を50枚ずつに分けてチームの持ち札とし、3列に並べます。
3. 暗記時間は1分間です。札の位置をしっかり頭に入れましょう。
4. 始めのあいさつをして、よみ手の声に従って札を取ります。次の札の上の句をよむまでは、お尻をかかとにつけて、手は膝に置きます。
5. 札を取る時は両手を使わないでください。また、よまれた札や周辺の札を、大きく飛ばさないようにしてください。
6. 相手チームの札を取ったときは、自陣の札を相手チームへおくります。
7. お手つきをすると、相手チームからお手つきの回数分の札がおくられます。
8. 試合が早く終了した場合は、他のチームが競技しているので、静かにその場で待機してください。
9. “終了”の合図の後、直ぐに手を膝に置きます。札には触らないでください。
10. 審判が枚数を確認します。席を離れないでください。**自陣の札が少ない方が勝ちとなります（取った数ではありません）。**
11. 枚数が同じ場合は、その前の試合（不戦勝の試合は対象としない。）の残り札が少ない方の勝ちとします。ただし、なおも、枚数が同じ場合または、初戦の場合については、くじ引きによって勝敗を決めます。
12. 確認が終わったら、審判が試合の結果を話して、終りのあいさつをします。
13. 参加チーム数の関係でリーグ戦を行う場合は、次のルールに従って行います。
    ・リーグ戦の場合は「引き分け」もあり、勝ち点として、勝ちは 3 点、引き分け1点、負けは 0 点とします。
    ・リーグ戦終了後、勝ち点の多い順に順位が決まります。
    ・勝ち点が同じチームが複数あった場合、チームごとの「試合残枚数の合計」が最も少ないチームが優先となります。
    ・勝ち点や総残枚数の合計がともに同数のチームがあった場合、そのチームが直接対決した時の勝利チームが優先となります。
    ・上記でも優先が決しない時は、くじ引きによって決めます。

※自陣の札の配置を途中で変えるときは、相手に伝えてください。
※競技かるた（百人一首）のような激しい取り方をしたり、大声を上げたりしないでください。
※競技者は審判の判断だけに頼らず、フェアな態度で札のやり取りをしてください。

かるた札のよみ方

1. 最初によむ札は、練習なので取らないでください。
2. よみ手は上の句をよみ、続けて下の句をよみます。
3. 札を取るまで、下の句をくりかえします。
4. 次の札に進む時は、前の札の下の句をよんでから、新しい札をよみます。

競技者の代理について

1. 申し込んだ競技者が急病などで来ることができなくなり、代わりの人が試合に出る場合は、試合前に係に申し出てください。ただし代わりの人は、他のチームで申し込んでいない人に限ります。代わりの人がいない場合には、2 人一組で競技をしていただきます。ただし、参加者が 1 人になった場合には、そのチームは棄権となります。